2025年５月22日

各　位

会社名　　株式会社fonfun
代表者名　代表取締役社長　水口 翼
（コード：2323、スタンダード市場）
問合せ先　取締役 兼 コーポレートソリューション本部長 八田 修三
（TEL：03-5365-1511 https://fonfun.co.jp/contact/）

決算説明会Ｑ＆Ａ書き起こし公開およびアーカイブ動画公開のお知らせ

2025 年５月 20 日に開催いたしました当社 2025 年３月期通期オンライン決算説明会のアーカイブ動画のご案内および質疑応答含めた書き起こし記事についてお知らせいたします。本資料の記載内容は決算説明会での発表および質疑応答をそのまま書き起こしたものではなく、ご理解いただきやすいように一部加筆修正をしております。あらかじめご了承ください。なお、回答内容については現時点で当社が把握しうる限りの情報をもとにしております。今後の環境の変化等により、多少の齟齬が生じる可能性がございますが、直近の当社の考えとして記載しております。

記

決算説明会 アーカイブ動画	https://youtu.be/ZAdOA-2eiq8
書き起こし記事コンテンツ （Ｑ＆Ａ含む）	https://note.com/fonfun2323/n/nd873f8a990dd

Q1. 借入金利等があがっていると思われるが、どのくらいの影響がありますか？またトランプ関税などの影響はありますか？

金利上昇は当社の業績に若干の影響が当然あると思いますが、金利、調達コストを上回るだけの事業収益を見込んでおり、当社の事業計画に大きな影響を与えることはないと考えています。トランプ関税の影響につきましては、当社は影響をうける業種業態ではなく、また取引先に関してもトランプ関税の影響を受けて縮小するような業種業態は限定的であるため、現時点での影響はございません。

Q2. 今期の利益率について詳しく教えてください。

営業利益率 10%を上回る利益率で進捗する見通しです。EBITDA マージンにおいても 20%を上回る水準で推移しております。今後、薄利多売の事業の M&A は想定していない為、引き続き 10%以上の高い利益率で推移をしていくと考えております。

Q3. 株主優待の検討はしているのでしょうか？

引き続き検討をしております。企業価値を上げる様々な手段の 1 施策として、実施タイミングや方法について引き続き検討してまいります。

Q4. スタンダードの維持基準について教えてください。維持基準を満たすために売り出しも検討されているのでしょうか？

スタンダードの維持基準として、流通株式時価総額が TOB 以前からの焦点となっておりましたが、昨年時点で流通株式時価総額 10 億円という基準はクリアしており、現時点においてもクリアできる想定です。株価が大きく減少し、流通株式時価総額を満たせなくなる場合も可能性として想定されますが、その際には売り出しに限らず様々な方法で維持基準を満たせるように努力してまいります。

Q5. 季節性について教えてください。4Q の数字だけ見ると、×4 倍の実力があるなら、来期の数字も保守的に思います。

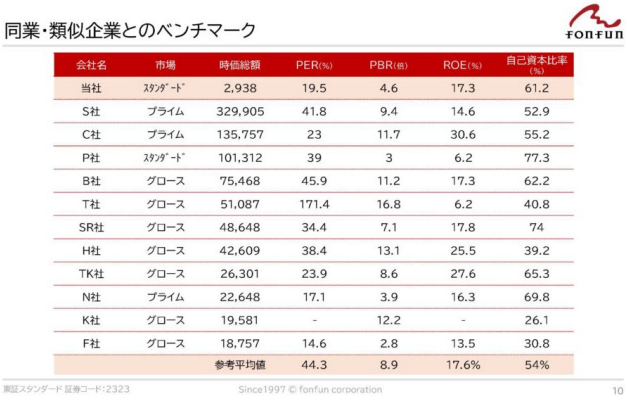
2025 年 3 月期業績では TOB 前から取り組んでいたショートメッセージの配信サービスにおいて、4Q で大口の配信がありました。今後もスポット的な配信等により特定のクォーターで数字が大きくなる可能性は考えられますが、来期以降これらの数字の確実性を担保できるものではないという前提もあり、来期の業績予想は保守的に見込んでおります。一方で事業そのものの業績が向上してきておりますので、3Q、4Q の数字を見ていただいた上で、それに近い数字を達成していけるように、事業の展開はしていきたいと考えております。

Q6. 中期経営計画に定める 2026 年 3 月期の EBITDA 目標が 400 百万円に対して、同年の業績予想が 346 百万円である理由を教えてください。

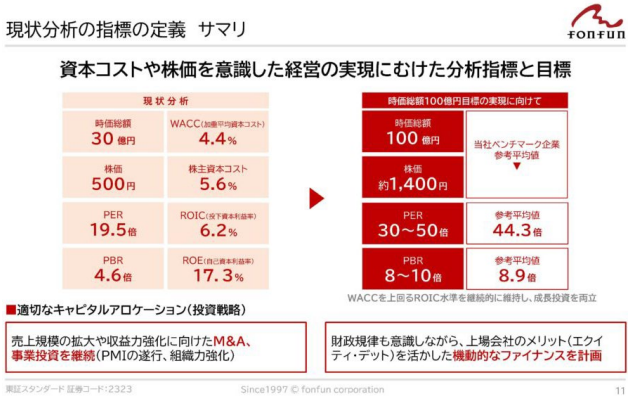
業績予想に関しては、新中期計画の連結売上目標 20 億円、EBITDA 4 億円を前提とした数字で開示しておりません。今回発表の業績予想は事業の確実性の高い数字として公開をしており、その上で EBITDA については 346 百万円が現時点では適切であると考えております。一方で、これまでに 6 件の M&A を実行してきており、利益が適切に出ている企業を M&A することで、今期中にはこれらの目標は達成できるのではないかと考えております。

Q7. 中期経画で掲げる 2026 年 3 月期までに時価総額 100 億円を達成という目標に関して算出の根拠と蓋然性を伺いたいです。

当社がベンチマークする、DX およびクラウドのソリューション、SaaS の事業の上場企業は、平均値でも PER 44 倍をつけております。当社の PER は現時点では約 20 倍で推移しているものの、今後の事業拡大、成長領域への注力、収益性向上により、中期的に市場からの評価倍率の向上も見込めると判断しています。時価総額 100 億円につきましては、現時点の時価総額から見ると非常に高い目標であると認識しておりますが、投資家の皆様に当社の将来価値を適切に評価いただけるよう、情報開示と IR を継続的に強化してまいります。


同業・類似企業とのベンチマーク

会社名	市場	時価総額	PER(%)	PBR(倍)	ROE(%)	自己資本比率(%)
当社	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ	2,938	19.5	4.6	17.3	61.2
S社	プライム	329,905	41.8	9.4	14.6	52.9
C社	プライム	135,757	23	11.7	30.6	55.2
P社	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ	101,312	39	3	6.2	77.3
B社	グロース	75,468	45.9	11.2	17.3	62.2
T社	グロース	51,087	171.4	16.8	6.2	40.8
SR社	グロース	48,648	34.4	7.1	17.8	74
H社	グロース	42,609	38.4	13.1	25.5	39.2
TK社	グロース	26,301	23.9	8.6	27.6	65.3
N社	プライム	22,648	17.1	3.9	16.3	69.8
K社	グロース	19,581	-	12.2	-	26.1
F社	グロース	18,757	14.6	2.8	13.5	30.8
		参考平均値	44.3	8.9	17.6%	54%



ご質問については当社公式サイト等より、常時受け付けておりますので以下よりお気軽にご連絡をお願いします。

公式サイト　：　https://www.fonfun.co.jp/contact/
X 質問箱（匿名）　：　https://x.com/fonfun2323

以上